

令和3年度 洛友会東京支部総会(資料)

令和3年6月27日(日)
於 学士会館／Web 会議

議事次第

- 開会の辞
- 支部長挨拶
- [第一号議案] 令和2年度行事・活動報告
- [第二号議案] 令和2年度決算報告および監査報告
- [第三号議案] 令和3年度の役員／評議員／幹事
- 支部長退任の挨拶
(役員交代)
- 新支部長挨拶
- [第四号議案] 令和3年度行事・活動計画
- [第五号議案] 令和3年度予算計画
- [第六号議案] 米寿・喜寿のお祝い
- 閉会の辞

付録1: 洛友会東京支部会則【令和元年6月30日改正】

洛友会東京支部ホームページ <http://www.rakuyukai.org/tokyo>
洛友会東京支部メールアドレス webmaster@rakuyukai.org

(ご参考)

京都大学アラムナイホームページ <http://www.alumni.kyoto-u.ac.jp/>

1. 令和2年度行事・活動報告

1.1 支部総会, 講演会, 懇親会

令和2年6月28日(日)、東京支部総会を開催しました。例年は講演会及び懇親会と併せて学士会館で実施していましたが、本年は新型コロナウイルスの流行状況を鑑み、「①洛友会東京支部 HP 上で事前公開した資料に対してメールで意見を照会する」、「②Microsoft 社 Teams を使用した web 会議形式でコメント反映後の資料について報告・議論する」、という2つの参加手段を併用して、東京支部総会のみ実施することとなりました。

初めての試みではありましたが、事前公開資料確認形式では15名、当日の web 会議では18名が参加して議案についての意見を交わすことができ、盛会となりました。

【議事録】

支部総会は午後2時より司会の岩田総務幹事から web 会議進行方法について案内した後、伊東支部長による開会挨拶で始まりました。

まず、岩田総務幹事より令和元年度行事・活動報告、日比野会計幹事より決算報告が実施されました。活動報告では、昨年中に実施した講演会、院卒1年目歓迎会等の開催模様、新型コロナウイルスの影響により春の見学会、趣味の会、拡大クラス会など2月以降に予定していた一部イベントが中止となったこと、及び Teams 会議で実施した5月の幹部会の開催模様が報告され、承認されました。決算報告では、会計監査の結果、収支状況が適切と判断された旨が報告され、承認されました。

次に、令和2年度役員として、支部長 伊藤八大(S54)、副支部長 尾上誠蔵(S55)、監事 北條博史(S56)、総務幹事 日比野勉(H13)、会計幹事 佐々木純(H16)、庶務幹事 増崎隆彦(H13)、若手交流会幹事 岩田元希(H12)の就任が承認されました。その後、伊東前支部長から退任のご挨拶、伊藤新支部長から就任のご挨拶がありました。

伊東前支部長からは、若手の参画促進を目指して昨年より開始した若手交流会が今後の活性化につながることに期待、コロナウィルス影響で2月以降のイベントが実施できず残念であったこと、新たな形態での幹事会開催にあたっての協力への感謝、今後への期待が述べられました。

伊藤新支部長からは、若手の参画を最重要課題として引き続き促進していくこと、コロナウィルスに負けることなく新しい技術を使ってイベント開催や情報展開を進めていきたいことを、今後の抱負として述べられました。

続いて、令和2年度行事・活動計画と予算計画について日比野 新総務幹事より説明がありました。計画の説明の中では、今後の講演会、見学会などのイベントについては今後の新型コロナウイルスの状況を踏まえ、実施方法を含めて検討中であること、引き続き若手活性化施策、支出削減策に継続して取り組むことが報告され、承認されました。参加者からは、集合形式でのイベント開催時の場合でもリモート参加を併用して欲しい旨の要望があり、幹事にて対応を検討する旨が回答されました。

また、活動計画と併せて、新型コロナウイルスにより困窮する学生を支援する「緊急学生支援プラン」への協力の呼び掛けが行われました。

最後に、令和2年度に米寿を迎えられた葉原 耕平 様(昭和30年卒)、岩原 皓一 様(昭和31年卒)、喜寿を迎えられた間宮 馨 様(昭和42年卒)、向井 利典 様(昭和41年卒)、柳沢 忠洋 様(昭和41年卒)のお名前が紹介され、拍手とともに会議参加者より祝意が評されました。



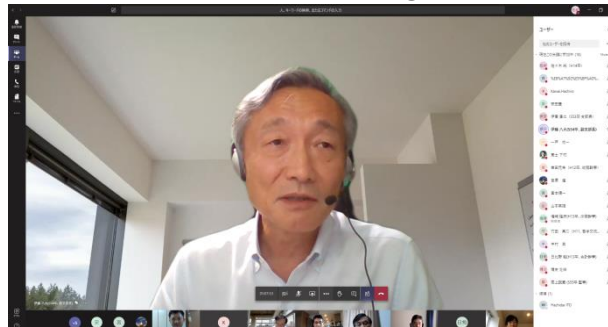
Teams 会議模様①



Teams 会議模様②



伊東前支部長



伊藤新支部長

〔報告〕 会計幹事 佐々木 純(H14 年卒)

1.2 秋の講演会

令和2年11月19日(木)に秋の講演会を開催しました。

今年は京都大学経済研究科特任教授の宇野輝様より「日本の金融機関の諸課題を探る～地銀再編とゆうちょ銀行の完全民営化～」と題してご講演いただきました。

例年は集合形式での講演会及び懇親会を学士会館で実施しておりましたが、依然として新型コロナウイルスの感染者発生が全国で続いているため、今年は学士会館での聴講者数を大幅に縮小し、Microsoft 社 Teams による web 会議を併用する方式にて運営しました。講演会当日は現地で9名、web 会議で30名、合計39名の方にご参加いただきました。

宇野様は1966年に京都大学経済学部を卒業後、住友銀行に入行し、同行取締役を経て三井住友カード副社長、SMBCコンサルティング会長、日本郵政(株)執行役員、ゆうちょ銀行常務執行役を歴任し、2009年より京都大学経済学研究科特任教授に就任されています。大学では現在の日本の金融機関の課題、その解決策、あるべき姿について講義をされており、今回の1時間の講演では金融機関の課題について概要をお話いただきました。

講演冒頭では産学官の全ての立場で金融業界をご経験された中で感じた、「若いうちから産学官を経験する人材」及び「グローバル人材」の重要性についてご説明頂きました。

次に、日本の金融機関の総資産、バランスシート、経常利益率(ROA)、自己資本登記純利益率(ROE)の推移など詳細な数値データから考察される日本国民の預貯金運用や経営に潜む課題についてご説明頂きました。これらの数値はリーマンショック以前から業態(都市銀行、信託銀行、地方銀行、ゆうちょ銀行等)によって大きな差異が存在し続けており、官製銀行では運用利益率に大きな課題があることを定量的に示されました。

続いて都市銀行については日本のGDPが増えない中で総資産を増やすために海外戦略を重視しており、その成否で業績に差がついていることを解説いただきました。地方銀行については、総資産と経常利益や営業経費率の相関関係などから、総資産が一定規模にならないと効率的な運用ができず、再編による最適化が課題であることをご説明頂きました。ゆうちょ銀行、農協・農林中央金庫については決算書を紐解くことで、運用先に外国投信を始めとする高コスト調達・ハイリスク運用が多いこと、配当性向が極端に高く業務効率化に投資できていないことが課題であることを示されました。

最後にこれらの課題の解決に向けては特殊法を撤廃し、官・民の金融機関をイコールフットINGの条件下で自由に競争させることが重要である、と述べて講演を終えられました。講演後は現地およびweb 会議の参加者から多数の質問が寄せられ、予定時間の30分間を超える活発な質疑応答の後に閉会となりました。



宇野特任教授



現地会場



Teams 会議

[報告] 会計幹事 佐々木 純(H14 年卒)

1.3 見学会

本年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止といたしました。

[報告] 総務幹事 日比野 勉(H13 卒)

1.4 若手交流会

昨年度から企画・開催された院卒1年目を対象とした歓迎会ですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止といたしました。

[報告] 総務幹事 日比野 勉(H13 卒)

1.5 趣味の会

名称	令和元年度幹事
囲碁会	向井 利典(S41卒)、喜多村 滋(S36卒)
麻雀会	船山 眞弘氏(S39修卒)
ゴルフ会	古澤 久具氏(S35卒)、山澤 穰氏(S38卒)、田崎 信氏(S44卒)
洛謡会	村上 薫氏(S36卒)
テニス会	山内 英樹氏(S44卒)、田中 喜男氏(S44卒)、成松 洋氏(S46卒)

入会のご希望、またはお問い合わせがございましたら、以下のアドレスにメールをご送付ください。

- ・囲碁会 igo@rakuyukai.org
- ・麻雀会 mahjong@rakuyukai.org
- ・ゴルフ会 golf@rakuyukai.org
- ・洛謡会 utai@rakuyukai.org (宝生流、観世流の謡会)
- ・テニス会 tennis@rakuyukai.org

●囲碁会活動報告

幹事 向井 利典(S41卒)、喜多村 滋(S36卒)

令和2年度は新型コロナの影響により囲碁会の活動ができませんでした。

以上

●麻雀会活動報告

幹事 船山 眞弘(S39修卒)

春、秋、冬と3回の例会を予定しておりましたが、いずれもコロナ感染防止対策のため自粛し開催にいたりませんでした。

以上

●ゴルフ会活動報告

幹事 古澤 久具(S35卒)、山澤 穰(S38卒)、田崎 信(S44卒)

洛友会ゴルフは春秋年2回開催としており、春は桜の満開時期にあわせて開催日を選んでいきます。令和2年4月2日に春のコンペ(第140回)を予定していたのですが、新型コロナウイルスの蔓延で、首都圏の各知事から3月末の週末は外出を控えるよう要請が出る状況なので、洛友会ゴルフの参加者の大部分が80歳代であることを考え中止としました。また、秋になっても新型コロナ感染状況が好転しないので秋のコンペも中止としました。

若い人の参加が少なく参加者の高齢化が進んでいますが、ゴルフはかつてのブーム的盛況から全体のゴルフ人数が減少しており、真にゴルフ愛好者の参加となっております。

高齢者の健康問題で有酸素運動の最も身近な運動としてゴルフ場を歩くことと、脳の働きを活性化するスコアカードの利用が勧められていますが活用されては如何でしょうか。

このような状況なので来年度の幹事は継続させていただきます。

以上

●洛謡会活動報告

幹事 村上 薫(S36卒)

令和2年度は、使用している目黒勤労福祉会館が新型コロナ感染症の影響で使用できなくなり、やむを得ず休会に致しました。

●テニス会活動報告

幹事 山内 英樹(S44卒)、田中 喜男(S44卒)、成松 洋(S46卒)(文責)

洛友会東京支部テニス会は、開始より約半世紀の伝統を持ち、昭和50年代初頭からほぼ毎月1回の頻度で週末あるいは祝祭日での例会を実施してきました。令和2年度においては、洛友会の皆さんがそれぞれ苦労されたように、テニス会でも新型コロナ蔓延の影響が大きく、この目標にははるか及ばない開催結果となりました。緊急事態宣言の間(年度の前半)はテニスコートが閉鎖されて開催できなかったことに加え、閉鎖が解除された後も雨天や猛暑によるやむを得ない開催中止、そしてその後、年度後半には拠点としているコートの改修工事が行われ、実際に令和2年度中に開催できたテニスの例会は、秋に実施できた2回に留まってしまいました。

通常の活動拠点は、東京インター(用賀)近くにある砧公園やNHK技術研究所に隣接の大蔵第二運動場です。毎回、テニスコート1面を2時間確保して、ダブルスのゲームを楽しんでいます。令和2年度から新規に参加された会員もおられ、開催回数は少なかったものの賑やかにプレーができました。令和3年度には、この勢いで継続できることを願っています。関東圏に居住の広範囲の会員諸氏が参加されており、例えば、東は東京墨田区、西は横浜からの参加者が居られます。

これからも楽しくテニス会を継続して会員諸氏の健康維持に貢献していきたいと願っています。少しでも体を動かすことに興味をお持ちの皆様、初心者の方も大歓迎ですし勿論腕に自信のある方も、ぜひ幹事までご一報くださるよう、お待ちしております。

回	開催予定／実施日			参加人数	開催場所
1	令和2年	4月12日	(日)	新型コロナ中止	世田谷区大蔵第二運動場
2		5月17日	(日)	新型コロナ中止	世田谷区大蔵第二運動場
3		5月31日	(日)	新型コロナ中止	世田谷区大蔵第二運動場
4		6月14日	(日)	雨天中止	世田谷区大蔵第二運動場
5		7月23日	(木祝)	雨天中止	世田谷区大蔵第二運動場
6		8月23日	(日)	猛暑中止	世田谷区大蔵第二運動場
7		9月22日	(火祝)	7名	世田谷区大蔵第二運動場
8		10月11日	(日)	8名	世田谷区大蔵第二運動場
9		11月より		改修工事	世田谷区大蔵第二運動場
10	令和3年	3月迄		改修工事	世田谷区大蔵第二運動場

以上

1.6 拡大クラス会

名称	令和2年度 幹事
京極会[S35～S39卒]	横山 常昭(S38)、片山 信昌(S38)
洛粹会[S40～S44卒]	浜口 友一(S42)
洛談会[S45～S49卒]	成宮 憲一(S49)、逢坂 福信(S45)
洛笑会[S50～S54卒]	伊藤 八大(S54)
喜洛会[S55～S59卒]	北條 博史(S56)
洛泡会[S60～H1卒]	中村 眞(正、S61)、大矢 智之(副、S62)
洛成会[H2～H6卒]	中原 智勇(H2)
百万遍会[H7～H11卒]	山本 輝哉(H10)
名称未決定[H12～H16卒](新規)	増崎 隆彦(H13)

●京極会[S35～S39卒]

幹事 横山 常昭(S38)、片山 信昌(S38)

新型コロナの影響で拡大クラス会は開催しませんでした。
令和3年度の幹事は榊 博史様(S35 卒)です。

以上

●洛粹会[S40～S44卒]

幹事 浜口 友一(S42)

新型コロナウィルスのため開催できませんでした。

以上

●洛談会[S45～S49卒]

幹事 成宮 憲一(S49)、逢坂 福信(S45)

令和2年度は、新型コロナウィルス感染拡大のため、活動できませんでした。令和3年度の幹事は、変更あ

りません。

以上

●洛笑会[S50～S54卒]

幹事 伊藤 八大(S54)

令和2年度も、新型コロナの影響で開催できませんでした。
令和3年度には開催できるようになることを期待しています。

以上

●喜洛会[S55～S59卒]

幹事 北條 博史(S56)

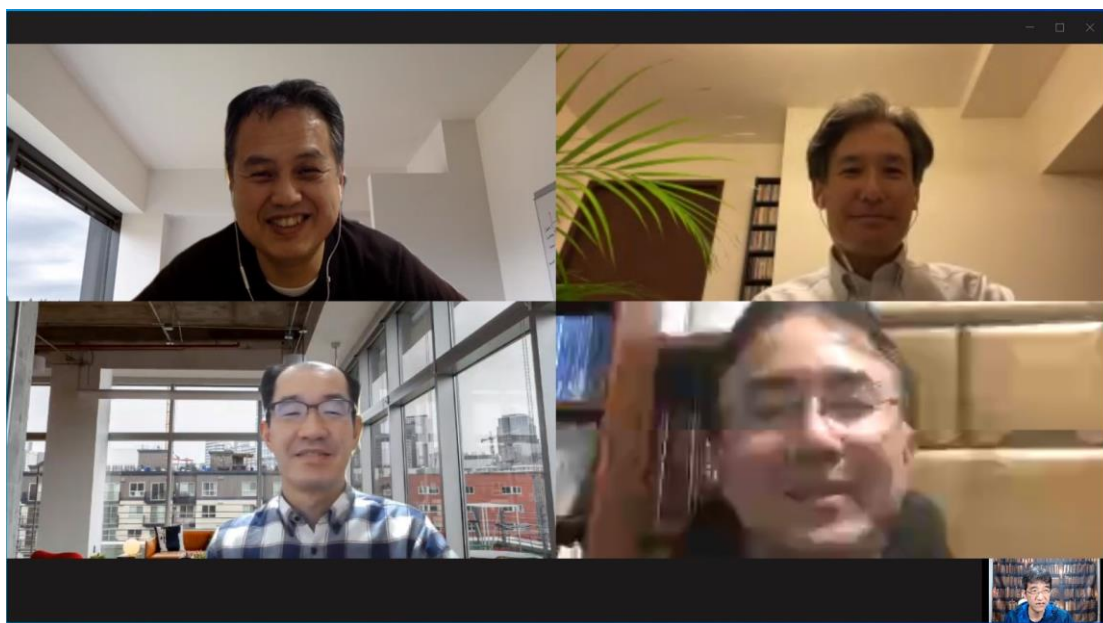
新型コロナウイルスの影響により、令和元年度に続いて開催を見送りました。

以上

●洛泡会[S60～H1卒]

幹事 中村 眞(正、S61)、大矢 智之(副、S62)

新型コロナウイルス感染拡大の影響を勘案し、開催を見送りました。再び開催できる日が早く来よう、学年幹事 5 名は、遠隔会議で作戦を練っています。



以上

●洛成会[H2～H6卒]

幹事 中原 智勇(H2)

洛成会については、新型コロナの影響で令和2年度の活動は、ありませんでした。

以上

●百万遍会[H7～H11卒]

幹事 山本 輝哉(H10)

令和2年の活動ですが、前年度と同じでコロナ状況を鑑みて集会を見合わせております。コロナ終息後に活動再開を予定しております。

1.7 幹事会

日時： 令和2年5月24日 13:00～15:00

場所： Web 会議

議題：

1. 令和元年度行事・活動報告
各幹事から活動報告がされました。趣味の会や拡大クラス会等の支部活動で洛友会本部の補助金を利用する場合の注意点として、洛友会会報に寄稿すること、早めに申請することなどが共有されました。
2. 令和元年度決算報告
日比野会計幹事からの決算報告、尾上監事からの監査報告があり、決算内容が承認されました。
3. 令和2年度役員／評議員／幹事
岩田総務幹事より説明があり、役員／評議員／幹事が承認されました。
4. 令和2年度行事・活動計画
岩田総務幹事から、新型コロナウイルスの感染拡大に留意しつつ、可能な限り例年通りの活動をする計画であることが説明され、行事・活動内容が承認されました。
5. 令和2年度予算計画
日比野会計幹事から計画が説明され、承認されました。
趣味の会および拡大クラス会の補助金は銀行振り込みで実施し、振込証明書を証跡とすることを確認しました。

1.8 第7回京都大学同窓会東京支部連絡会議および第5回交流会

例年、在京の同窓会で開催する連絡会議および交流会に参加しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況に鑑み、開催中止となりました。

報告：総務幹事 日比野 勉(H13)

1.9 課題への取り組み報告

(1) 登録会員（連絡先が把握できている会員）数向上について

まずは、会員に各種情報を届けるためのメールアドレスの把握・現行化のため、以下の取り組みを実施しました。

- ① 機会あるごとに、洛友会 HP における会員情報変更手順を記載することで、連絡先の現行化を依頼。
- ② 令和元年度より計画している9つ目の拡大クラス会(H12～H16 卒)ですが、本年度も新型コロナウイルスの影響により、開催が見送られました。新型コロナウイルスの状況に応じて早期の開催を目指します。

今後も支部役員・学年幹事・拡大クラス会幹事が連携し、当会との関係が疎遠になりがちな(特に、若手)会員に対し、当支部主催のイベントはもちろんのこと、京都大学全学同窓会等が開催する各種イベントの案内等をより多くの会員に届けることとします。

(2) 若手活性化施策について

卒業して間もない若手会員に、洛友会東京支部の存在そのもの、そして、その活動を認識してもらうため、東京支部エリアに就職した院卒1年目(H30 学部卒)を対象とした歓迎会ですが、本年度は新型コロナウイルスの影響で開催できませんでした。

(3) 全学同窓会活動について

例年、東京支部連絡会議に参加し、全学同窓会活動との連携をはかっておりますが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で開催されませんでした。

(4)支出削減について

令和 2 年度は、複数のイベントを中止したり規模縮小して開催したりしたため、収支が大幅に改善しました。収支改善は一時的なものですので、支出が過去数年の平均収入と同程度となることを目標とした下記の支出削減施策は継続して実施します。

- ・総会を除く支部イベントの案内は電子メールのみとする。
- ・片道ハガキ送付による総会の案内は、支部長より上の年次のみを対象とする。

1. 10 洛友会会報への寄稿

今年度は、東京支部からは下記の皆様に洛友会会報へご寄稿いただきました。

第 269 号(2020 年 7 月) 巻頭言「変化と準備」 伊東康之 様(S53 卒、前東京支部長)

第 270 号(2020 年 10 月) 会員寄稿「日本の生産性を何とかしたい」 竹原 司 様(S51 卒)

第 272 号(2021 年 4 月) 会員寄稿「毛鉤を使った釣りのすすめ」 姫野龍太郎 様(S52 卒)